

# 造林事業仕様書

西毛地区造林（植付外）請負事業  
（R 7 補正翌債・強靱化）

群馬森林管理署

---

この請負事業の仕様書は次のとおりとする。

- 造林事業請負標準仕様書
- 造林事業請負実行管理基準
- 関東森林管理局造林事業仕様書

掲載場所：<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publicsale/keiri/20140423.html>

---

#### 特記事項

この請負事業に対する特記事項は次のとおりとする。

##### (CSF 感染拡大防止対策)

CSF（豚熱）の感染拡大防止のため、群馬県における CSF 対策を熟知して適切な対策に努めること。

##### (作業種ごとの特記仕様)

植付作業にあたっては「植付特記仕様書」、獣害防除（忌避剤散布）作業にあたっては「忌避剤散布特記仕様書」、獣害防除（単木保護資材設置）作業にあたっては「単木保護資材設置特記仕様書」のとおりとする。

##### (その他)

- 1 現場での判断が難しい場合は、監督職員と協議の上、指示に基づき作業すること。
- 2 希少野生生物を確認した場合は、監督職員へ報告することとし、事業実施において希少野生生物の保護の観点から事業の調整等に応じること。
- 3 別紙1「国土強靱化関連事業における工事看板の取扱いについて」のとおり、工事看板に国土強靱化対策事業であることを記載し、地域住民等に対して発信することとする。

(別紙1) 国土強靱化関連事業における工事看板の取扱いについて

1 工事看板の記載内容

工事看板に事業内容及び国土強靱化対策事業であることを簡潔に記載する。

記載文章例

健全な森林づくりのため〇〇（間伐/地拵/植付/下刈/除伐/獣害対策）を行っています  
国土強靱化対策事業

※〇〇には当該箇所の作業種を記載

2 留意事項

標準仕様書により設置を義務付けしている看板等とは別に、新規で看板を制作することは不要。

これまで設置していた看板等に、文章を追加することとする。

## 植付特記仕様書

## 1 苗木の仕様

樹種	区分	長さ	根元径	本数	適用林小班等
スギ	コンテナ苗	45cm上	3.5mm以上	6,460	24わ1
スギ	コンテナ苗	30cm上	3.0mm以上	11,100	105い1
スギ	コンテナ苗	30cm上	3.0mm以上	5,960	204い3
ヒノキ	コンテナ苗	45cm上	3.5mm以上	5,120	
スギ	コンテナ苗	45cm上	3.5mm以上	2,820	283へ
ヒノキ	コンテナ苗	45cm上	3.5mm以上	200	187に1(補植)
ヒノキ	コンテナ苗	45cm上	3.5mm以上	1,200	187に2(補植)
ヒノキ	コンテナ苗	45cm上	3.5mm以上	440	197い(補植)
カラマツ	コンテナ苗	45cm上	3.5mm以上	4,000	38ろ(改植)

(注) 品質確保の観点から、原則として群馬県産の苗木とする(スギにあたっては花粉症対策苗木(無花粉苗木、少花粉苗木及び低花粉苗木))。群馬県内では苗木調達が困難で、隣接都県から調達可能な場合は、植付作業に着手する前までに条件変更について発注者に協議の上、当該都県から移入した苗木を使用すること。ただし、原則として種子の採取地及び育成地が林業種苗法第24条第1項の規定に基づく農林水産大臣の指定する配布区域内である苗木に限る。

## 2 ha当たりの植付本数及び苗木の植付間隔

植付樹種	ha当たりの 植付本数(本)	苗木の植付間隔(水平距離)		適用林小班等
		列間	苗間	
スギ・ヒノキ・ カラマツ (コンテナ苗)	2,000	2.20m	2.20m	植付全林小班

(注) 寸法の単位は、m以下1位(10cm単位)とする。

## 忌避剤散布特記仕様書

## 1. 忌避剤の仕様

- (1) 性 状 類白色水和性粘調懸濁液体
- (2) 有効成分 ジラム（白色粉末）32% ジンクジメチルジチオカーバメイト
- (3) 効果
- ア) ノウサギ・カモシカ・ニホンジカに忌避効果が認められる。
- イ) 薬剤は散布後3時間程度で素早く乾燥、また付着性にも優れ、降雨による流出が無く散布した部分の食害を長期にわたって防止する。
- ウ) 味覚刺激による食害減退効果がある。
- (4) 安全性
- ア) 毒物分類 普通物（劇物・毒物・特定毒物に該当しないもの）
- イ) 魚 毒 性 C類

散布された忌避剤が河川湖沼海域および養魚場に飛散または流入するおそれのある場所では使用せず、これらの場所以外で使用する場合も、一時に広範囲に使用しない。散布に使用した器具及び容器を洗浄した水、使用残りの薬液並びに使用後の空き袋は、河川などに流さず地下水を汚染するおそれのない場所を選び土中に埋没するなど安全な方法で処理する

## 2. 忌避剤の散布内訳

植栽樹種	適用害獣名	原液量(ℓ)	希釈倍率	総散布量(ℓ)	植栽木1本当たり使用量(ℓ)	対象林小班等
スギ・カラマツ	ニホンジカ・カモシカ	22.50	3倍	67.50	0.015	43と1
カラマツ	ニホンジカ・カモシカ	8.40	3倍	25.20	0.015	43と2
スギ	ニホンジカ・カモシカ	55.50	3倍	166.50	0.005	105い1
スギ	ニホンジカ・カモシカ	37.80	3倍	113.40	0.010	106ほ1
スギ	ニホンジカ・カモシカ	28.10	3倍	84.30	0.005	106へ1
スギ	ニホンジカ・カモシカ	1.00	3倍	3.00	0.005	106へ2
スギ	ニホンジカ・カモシカ	74.60	3倍	223.80	0.010	106ち1
スギ	ニホンジカ・カモシカ	40.00	3倍	120.00	0.010	185ろ
スギ	ニホンジカ・カモシカ	32.60	3倍	97.80	0.010	185ほ1
ヒノキ	ニホンジカ・カモシカ	4.40	3倍	13.20	0.005	187に1
ヒノキ	ニホンジカ・カモシカ	8.50	3倍	25.50	0.005	187に2
スギ	ニホンジカ・カモシカ	98.60	3倍	295.80	0.010	193い1

植栽樹種	適用害獣名	原液量(ℓ)	希釈倍率	総散布量(ℓ)	植栽木1本 当たり使用量(ℓ)	対象 林小班等
スギ	ニホンジカ・カモシカ	100.00	3倍	300.00	0.010	193ろ
スギ	ニホンジカ・カモシカ	84.80	3倍	254.40	0.010	193へ
スギ	ニホンジカ・カモシカ	67.50	3倍	202.50	0.015	193ぬ
スギ	ニホンジカ・カモシカ	288.00	3倍	864.00	0.015	197い
スギ	ニホンジカ・カモシカ	55.00	3倍	165.00	0.005	204い3(春)
スギ	ニホンジカ・カモシカ	55.00	3倍	165.00	0.005	204い3(秋)
スギ	ニホンジカ・カモシカ	7.40	3倍	22.20	0.010	247い(春)
スギ	ニホンジカ・カモシカ	7.40	3倍	22.20	0.010	247い(秋)
スギ	ニホンジカ・カモシカ	30.00	3倍	90.00	0.010	247ろ(春)
スギ	ニホンジカ・カモシカ	30.00	3倍	90.00	0.010	247ろ(秋)
スギ	ニホンジカ・カモシカ	21.80	3倍	65.40	0.010	248は1(春)
スギ	ニホンジカ・カモシカ	21.80	3倍	65.40	0.010	248は1(秋)
スギ	ニホンジカ・カモシカ	153.30	3倍	459.90	0.015	271ろ1(春)
スギ	ニホンジカ・カモシカ	153.30	3倍	459.90	0.015	271ろ1(秋)
スギ	ニホンジカ・カモシカ	14.10	3倍	42.30	0.005	283へ(春)
スギ	ニホンジカ・カモシカ	14.10	3倍	42.30	0.005	283へ(秋)

※植栽木1本あたり使用量は、原液の数量とする。

### 3. 忌避剤の購入

獣害防除資材は請負者が購入し、設置前に監督職員立ち会いのもと、品質・規格・数量等の確認を受けること。

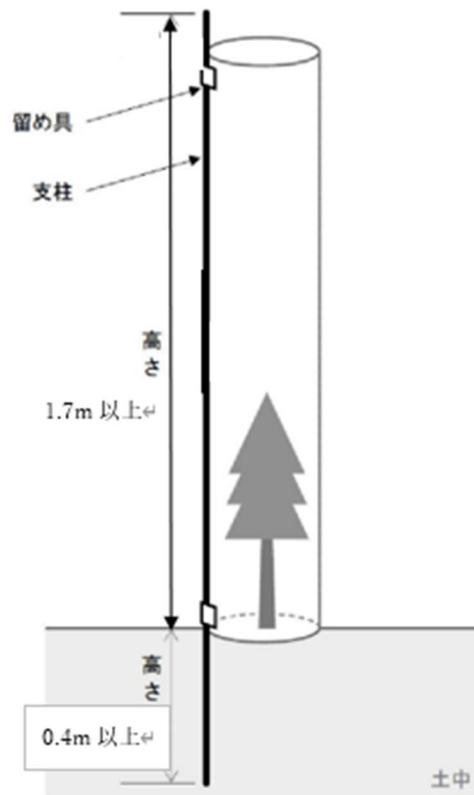
### 4. その他

- (1) この仕様書に定めのない事項については、監督職員の指示による。
- (2) 散布後、余分な忌避剤が生じた場合には監督職員に引き渡すこととする。
- (3) 2回目散布実施箇所の2回目の散布時期については、1回目の散布完了後監督職員と現地の状況を確認の上、決定すること。

単木保護資材設置 特記仕様書

適用林小班：24 わ 1

1 作設標準図



2 材料表 (1セット当たり)

品名	仕様、品質・規格	備考
本体	ポリエチレン、高さ 1.7m 以上、幅 (上部円周 50cm、下部円周 100cm)	
支柱	ガラス繊維強化プラスチック等 直径 8mm、長さ 2,100mm	
止め具	ステンレス鋼、長さ 3cm	上部、下部の 2 箇所以上に取り付ける。
杭	ポリプロピレン、長さ 34.5cm	2 箇所斜めに杭を打ち込む。

※上記の仕様、品質・規格を参考とし、これと同等以上で、5年以上の耐久性を確保できるものとする。

3 その他

本仕様になめのない事項については、監督職員の指示によるものとする。